



金鳥スミチオン乳剤

NET 18L

第二石油類(水溶性)・危険等級Ⅲ
火気厳禁・殺虫剤用灯油

使用前に必ず使用薬剤のラベルをよく読み、十分理解した上で使用して下さい。

金鳥スミチオン乳剤 (防疫用殺虫剤)

第2類医薬品

注意—人体に使用しないこと

【使用上の注意】

してはいけないこと

- (1) 薬剤を口や目に入れしないで下さい。
- (2) 使用するとき以外、薬剤を分散しないで下さい。
- (3) 分散するときは、殺虫剤と明記した専用の容器を使用し、食品用の容器や誤用の恐れのある容器に入れしないで下さい。
- (4) 希釈の際は、水がね返らないようにして均一に攪拌し、直接手でかき混ぜるようなことはしないで下さい。希釈する容器は殺虫剤と明記した専用のものとし、他と兼用しないで下さい。

相談すること

万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、吐かすや直ちに医師の診察を受けて下さい。薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合には、直ちに使用を中止し、清浄な空気のある場所で安静にして、医師の診察を受けて下さい。医師の診察を受ける際には、本剤が有機リン系の殺虫剤であること、および使用薬剤の名称、成分名、症状、被曝状況について出来るだけ詳細に医師へ報告して下さい。

●使用に際しての注意

- (1) 定められた用法、用量を厳守して下さい。間違った使い方をされた場合、生じた事故についての責任は負うことができません。
- (2) アレルギー症状やふらつき等を起こしやすい体質の人は、薬剤に触れたり作業に従事しないで下さい。
- (3) 病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させて下さい。
- (4) 使用目的以外の環境に影響を及ぼさないために、農漁池、井戸、地下水等を汚染する恐れのある場所、蜜蜂、蚕(繭)、水棲動物等に被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないで下さい。
- (5) 食品、食器、おもちゃ、愛玩動物、観賞魚、飼料、寝具、衣類等は、あらかじめ他へ移すかあるいは格納し、薬剤がかからないようにして下さい。
- (6) 保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)および使用する防除器具は、あらかじめよく点検整備して使用して下さい。
- (7) 使用に際しては、必要量だけを取り出し、使用し切らないで下さい。
- (8) 本剤と他の薬剤とを混合したり、加熱したりしないで下さい。
- (9) 希釈した液は不安定なため、その都度必要量を調整し、また、直射日光の下に放置しないで下さい。アルカリ性の下では分解しやすいので、石けん液等の混入を防いで下さい。
- (10) 産卵期や成虫初期の中には、薬剤によって侵されやすいものがあるので注意して下さい。また、濃厚希釈液の場合は、植物にかかると枯れることがあるので注意して下さい。
- (11) 大理石やツルくさい、白木等に薬剤が付着した場合は変色、変形することがあるので注意して下さい。
- (12) 薬剤原液は引火の恐れがあるので、火気のある場所では取り扱わないで下さい。また、電気火花が発生しそうなところでは電源を切ってから使用して下さい。

●使用中又は使用後の注意

- (1) 保護具を必ず着用し、身体の露出部分を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ取り込まないように注意して下さい。特に天井等、上部に向けて噴霧噴霧をするときは注意し、噴霧噴霧は十分換気をして下さい。
- (2) 室内や通風の悪い場所で作業する場合は局所排気装置を使用する等して、換気に十分注意し、長時間の作業は避けて下さい。
- (3) 薬剤の調整、散布中は喫煙、飲食をしないで下さい。使用し切った後は、手や服をよく洗ってから下さい。
- (4) 使用した後、あるいは皮膚に付いたときは、石けん水でよく洗い、水でうがいをして下さい。万一、薬剤が口、目などに入ったときは、直ちに水でよく洗い流して下さい。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えて下さい。また、必要に応じて、医師の診察を受けて下さい。
- (5) 薬剤処理に用いた機械器具や使用容器等は石けん水でよく洗い、特に噴霧器はよく手入れをしておいて下さい。また、小児が器具等に触れないようにするとともに洗浄水や使用残液は作業現場から持ち帰り、処分が当たっては自治体の条例や指導に従って処分して下さい。河川、湖沼、下水道等の水域や、地下水を汚染する恐れのある地域には捨てないで下さい。
- (6) 作業時の衣類は、他の衣類と区別して洗濯し、保護具も洗剤でよく洗って下さい。
- (7) 使用済みの空容器等は、石けん水でよくすすぎ、適切に処分して下さい。
- (8) 使用済空缶は鉄クズ回収業者に処理を任せ、空缶を他目的に使用しないで下さい。

●保管上の注意

- (1) 薬剤は、他の容器に移し替えて保管しないで下さい。
- (2) 薬剤を開封した後は、容器を密封し他のもので区別して保管して下さい。
- (3) 保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児の手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にして下さい。

●その他の注意

- (1) 高濃した場合には、次のように処理して下さい。
 - ① 吸収性の媒体、例えば砂、軽石、ホロボロ、オガクズなどに吸着させ、広がりや阻止して回収して下さい。
 - ② 火災の危険が生じた場合には、すべての火元を止め、火災の誘発を防止する処置を講じて下さい。
 - ③ 漏洩した薬剤が井戸、池、河川などの水系に流入した場合には、直ちに警察又は保健所に届け出て下さい。
- (2) 火災事故の場合は次のように処理して下さい。
 - ① 火災の拡大を軽減する最大の措置を講じて下さい。
 - ② 薬剤が燃焼すると有毒なガスが発生する恐れがあるので、人を避難させて下さい。
- (3) 使用に際しての不明な点や事故等があった場合は、製造販売元へ連絡して下さい。

【効能又は効果】 ハエ成虫、ハエ幼虫(ワジ)、蚊成虫、蚊幼虫(ボウフラ)、ゴキブリ、ノミ、トコジラミ(ナキヤムシ)、イエダニ、マダニの防除

【用法及び用量】

用法及び用量

目的に応じて水で希釈し、一般に害虫の生息又は発生場所に対して使用して下さい。

1. ハエ・蚊成虫

- (1) 直接噴霧: 通常、20倍濃度の成虫に向けて適量噴霧して下さい。この際、過剰な使用を避けて下さい。
- (2) 残留噴霧: 1㎡につき20倍濃度50mLをハエや蚊のよく止まる天井や壁等の全面に、あらかじめ噴霧して下さい。
2. ハエ幼虫(ワジ): 1㎡につき400倍濃度2Lを幼虫の発生場所に散布して下さい。ゴミや堆肥の場合は、よく内部までしみ込ませるに800倍に希釈して散布量を2倍として下さい。
3. 蚊幼虫(ボウフラ): 発生場所の水層1層につき本剤の20mL(有効成分2ppm)を、適宜水で希釈して散布して下さい。
4. ゴキブリ、マダニ: 1㎡につき10～20倍濃度50mLの割合で重点的に、ゴキブリ、マダニの潜み場所あるいはよく回る場所に残留塗布又は噴霧して下さい。
5. ノミ、トコジラミ(ナキヤムシ)、イエダニ: 1㎡につき10～20倍濃度50mLの割合で使用して下さい。

【成分及び分量】

【有効成分】 フェニトロチオン10g(100g中)

【その他の成分】

ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ドデシルベンゼンスルホン酸Ca、キシレン、灯油、他1成分

【貯蔵方法】

遮光した気密容器
LOT NO.

KINCHO
大日本除虫菊株式会社

〒550-0001
大阪府西区土佐通1丁目4番11号
TEL 06-6441-0451

K14A